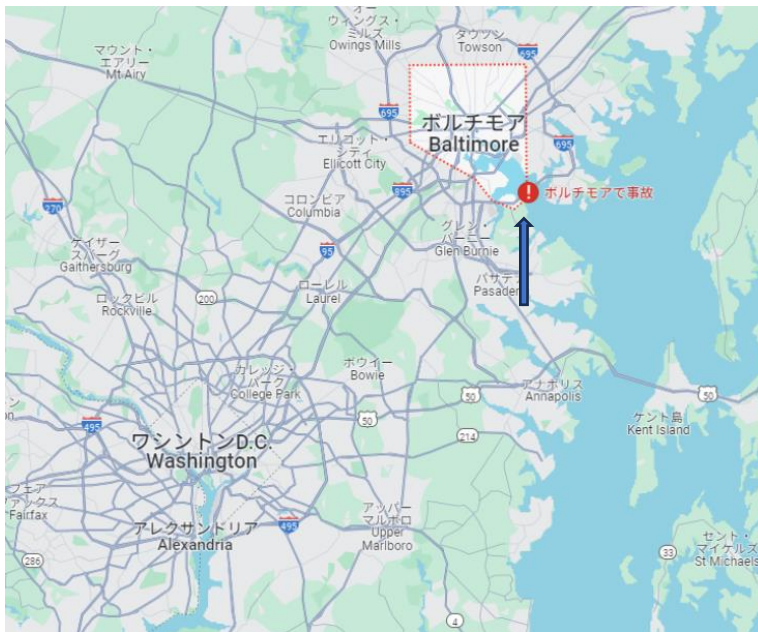


米・ボルチモアの橋崩落（564号）

2024年 4月 石館

アメリカ・メリーランド州ボルチモアで、コンテナ船が衝突して橋が崩落し、6人が行方不明になった。ボルチモアで3月26日未明に発生したこの事故で、バタブスコ川にかかるフランシス・スコット・キー橋の支柱にシンガポール船籍のコンテナ船“ダリ”が衝突し、橋の補修工事をしていた作業員8人が川に落下した。そのうち2名は救助された。



矢印が事故の起きた橋

ボルチモアはアメリカ合衆国のメリーランド州にある同州最大の都市。どの郡にも属さない独立都市である。

古くから天然の良港として知られ、1729年に南部産タバコの輸出港として開かれ発展した。

首都であるワシントン D.C.の外港としての機能を有する大西洋で極めた重要な港湾都市である。

ボルチモアの名前はメリーランド植民地の建設の立役者であるアイルランド貴族院議員の第2代ボルチモア男爵に由来する。ボルチモアはアイルランド南部にあるコーク県ボルチモアに由来し、これらアイルランド語で“大きな町”を意味する。

アメリカでもっとも古い都市の一つであり、1729年に誕生した。南北戦争の舞台にもなり、国家や星条旗もこの地で生まれた。1830年全米で初めてボルチモア・オハイオ鉄道が開通した。魚種の豊富な優れた漁港として知られたが、

ペンシルバニア炭田の開発により工業が発展し、後に造船・鉄鋼などで財政を潤した貿易港として発展し、ピークには人口100万人に迫る勢いを見せた。



フォート・アーミステッド・パークから見たかつてのフランシス・スコット・キー橋、2015年

小生もボルチモアに行ったことがあるが魚介類の美味しいレストランがあったことは記憶にあるが、治安が良くないので夜は出歩かないようにと注意された

このフランシス・スコット・キー橋の中心部にコンテナ船がぶつかり崩落した。

橋は1977年に開通し、合衆国の国歌である星条旗の作詞者であるアマチュアのフランシス・スコット・キーにちなんで名づけられた。

この橋は推定で年間1150万台の車両が通過する。危険物の輸送がボルチモア・ハーバートンネル及びフォート・マクヘンリートンネルでは禁じられているため、危険物輸送トラックのルートに指定されている。

コンテナ船が衝突した場所



シンガポール船籍“ダリ”が動力を喪失し、橋げたの一つに衝突したことで主径間が崩壊した。船の乗務員は動力を失った直後遭難信号を送り、また橋の上に居た作業員は衝突前に橋から車両を締め出しており、これら両方の行為により多くの

命が救われた。正にこれらはマニュアルにないとっさの判断で亡くなった方は気の毒であるが、この程度の死者で済んだのは奇跡に近い。

この橋を建設した当時、この橋の下を通過することを想定された船舶は、コンテナ船“ダリ”など現在の巨大船舶よりはるかに小規模であった。

崩落した通称“キー・ブリッジ”は首都ワシントンとニューヨークを結ぶ大動脈の一つで、1日平均3万台以上の車両が通行している。ボルチモア港湾を横断する3つの道路のうちの一つで、メリーランド州当局によると崩落した橋の通行量は、全体のおよそ20%程度の様である。

今後は2つの残るトンネルを経由した道路に迂回することになるが、危険物を運搬する車両は崩落した橋しか通行できないことから、影響が出ることが予想される。また、崩落した橋の下はボルチモア港を出入りする船舶の通り道になっている。



美しいボルチモアの街

メリーランド州によるとボルチモア港の去年の自動車の扱い量はおよそ85万台で、13年連続で全米トップ

プとなっており、東海岸最大級の海運拠点である。

崩落した橋を海中から取り除くまで港への船の出入りが当面できなくなる見通しで、アメリカのメディアは今後、多くの船舶がニューヨークやバージニアなど、東海岸の他の港を利用することになると伝えている。

バイデン大統領は、橋の崩落により船がボルチモア湾に出入りできなくなっているとして航路を確保するため、現場にアメリカ陸軍を派遣し、崩落した橋を海中から取り除く作業を急ぐ考えを示した。またボルチモアの港について自動車の取扱量が全米トップであり、1万5000人が港に従事しているとし“港に関わる仕事や労働者を守るために出来る限りのことをする”と強調した。

そのうえバイデン大統領は崩落した橋について“アメリカ北東部の経済や生活にとって最も重要な部分だ。連邦政府として再建にかかる費用の全額を負担したい“と述べ、議会に資金の拠出を認めるよう訴えた。

ボルチモア港での取り扱い貨物量は年間重量ベースで3700万トン
2021年のアメリカの国際港の取扱量ランキングで、ボルチモアは17位。グローバルサプライチェーンにそれほど大きな影響を及ぼすとは考えられない。
ボルチモアのトラブルは、近年の海運の混乱の中では規模が小さい部類となる。

昨年イスラエルとパレスチナの紛争により、紅海の航行が難しくなっている。
スエズ運河の重量ベースの年間通過貨物量は11億7000万トンとなり、国際海運に大きな影響を与えていますが、ボルチモアはその3%程度の3700万トンとなり、国際貿易に甚大な影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。